

研究・調査報告書

報告書番号	担当
305	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳) Alcohol and tobacco use among rural Mexican adolescents: individual, familial, and community level factors. メキシコの地方の10代における飲酒と喫煙状況：個人的、家族のおよび社会的な要素	
執筆者	
Ozer EJ, Fernald LC.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Adolesc Health. 2008 Nov;43(5):498-505. Epub 2008 Jul 23.	
キーワード	
メキシコ、アルコール中毒、10代、地方住民	
要旨	
<p>目的： メキシコの地方の10代における飲酒と喫煙状況を説明する、個人的、家族のおよび社会的な要素の影響を調査した。</p> <p>方法： 国の調査の一部としてメキシコの7州に属する333の貧困かつ地方社会から3922人の10代の若者とその母親が家族レベル、社会経済的および心理社会的な要因に関する横断的データ、そしてアルコール中毒と精神的症状に関する個人的なデータを提供した。</p> <p>結果： 標本デザインを調整した一般線形モデルは、10代の飲酒は男性、高齢、雇用そして飲酒習慣を持つ母親を持つことが関連することを示した。その地域の土着の社会に住む家族出身であることは飲酒状況とあまり関連はなかった。家族の収入、家族の大きさ、地域の標準的生活は10代の飲酒と直接関連しなかった。現在の喫煙は男性、高齢、より多くの精神的心配、喫煙または高学歴の母親を持つことと関連した。さらに10代の飲酒状況は性や民族性によって良い影響が出る傾向があることを分析が示した。</p> <p>結論： 危険因子としての男性や年齢の影響を超えて母親のアルコール中毒が特にメキシコの地方の10代における飲酒と喫煙状況の多様性について説明した。土着の民族性やその地域の土着の社会に住むことは飲酒に関しては予防的な利益を与えた。これらの所見は10代の健康のための啓発的内容および個人レベルの要素の複合的な重要性を明らかにするメキシコや他の地域での先行研究をより深めた。</p>	